

政策	53 スポーツの推進						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	身近にスポーツを楽しむコミュニティの活動の場としてスポーツ施設や運動広場などの充実が図られています。 各種大会・教室の開催などスポーツを楽しむ機会の充実が図られています。						
成果指標	体育館・グラウンド等のスポーツ施設への市民満足度...平成29年度で80% スポーツ大会・教室への市民満足度...平成29年度で80%						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定	60.00	65.00	70.00	75.00	80.00
		実績				74.09	84.70
	成果指標2 [%]	予定	60.00	65.00	70.00	75.00	80.00
		実績				88.22	97.42
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト(千円)	予定	303,809	246,530	253,061	221,754	267,164	
	実績	277,712	244,270	236,893	213,945	247,390	
内部評価	貢献度	基本方針を進めるには、スポーツ施設の整備・充実やスポーツを楽しむ機会の充実が必要であり、本基本施策の目標達成による貢献は高い。					
	達成状況	市民満足度については、施設利用者・大会参加者にアンケートを実施。施設利用者及びスポーツ大会や教室への参加者の実績値から鑑み、達成できている状況にある。					
	課題	アンケートの調査結果を検討し、市民のだれもが気軽に体力づくりに取り組むことができるよう、市民が利用しやすい施設づくりが必要である。					
	取組方針	市民のニーズに対応するため、快適にスポーツが楽しめるよう、施設の長寿命化と適正配置に努め、市民が利用しやすい施設として維持管理し、利用者の満足度向上を図る。					
外部評価	各指標ともに目標を達成できたことは評価できる。 市民満足度の調査において、市民の意向をくみ取る工夫を行い、市民が利用しやすい施設の在り方や、興味のあるスポーツプログラムなどのニーズを把握し、施設の再配置や新たなメニューづくりに役立てるような工夫を求めたい。 特に運動公園のプールなど、季節的に利用が借りられるにもかかわらず、維持費等の負担が大きい施設については、施設再配置計画の中で十分に検討を願いたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	5301	スポーツ環境の充実				185,600	95
	5302	生涯スポーツの推進				61,790	95

平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	53 スポーツの推進		
区分	妥当性	妥当	生涯スポーツの推進においては、市体育協会、各種スポーツ団体との連携が重要であり、各種事業の実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業実施における効果を検証することでコストの再確認を行い適正な執行に努める必要がある。
	受益者負担	適正	一部参加者負担によるスポーツ大会・教室もあるが、他の大会教室でも参加者負担の余地があるか検討したい。
	上位貢献度	有効	「大会参加者数」「施設利用者数」向上のため貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	他に類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	各種スポーツ団体・サークルなどの活動に必要な情報提供を充実させるとともに、団体間の交流を促進することで、活動の活性化や組織の育成支援・ネットワーク化を図ることにより成果向上の余地はある。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	基本方針を実現するためには、市民が利用しやすい施設づくりや市民がスポーツ活動に親しむためのきっかけづくりや実践する場の確保に向けて、身近なスポーツ大会・イベント・教室などの充実が必要であり各単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	アンケートの実施結果、スポーツ大会・教室への参加者の満足度は目標値を大きく上回ることができた。体育館及びグラウンド等の施設利用者の満足度についても目標を達成することができた。	
	課題	施設の利用環境向上のため、適切な維持補修が必要である。栃木市民スポーツフェスティバルや栃木市ウォーキング大会などの既存のイベント・大会の内容の充実を図り、市民の満足度の向上のための工夫が必要である。	
	取組方針	老朽化した施設の適切な維持補修を行うほか、高齢者・障がい者などを配慮したスポーツ施設のバリアフリー化やアクセスフリーの向上を図る。また、2022年のとちぎ国体に向け、会場となる施設の修繕・改修を行う。既存のイベント・大会については、より多くの方に周知を図れるように努める。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	基本方針を実現するためには、市民が利用しやすい施設づくりや市民がスポーツ活動に親しむためのきっかけづくりや実践する場の確保に向けて、身近なスポーツ大会・イベント・教室などの充実が必要であり各単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	市民満足度は施設利用者・事業参加者からアンケートを実施したのは直近の2か年であったため、指標の設定から見直す必要があると思うが、29年度は施設利用者84%事業参加者からは97%という評価をいただくことができた。	
	課題	今後の人口動態やスポーツ施設に対する時代のニーズを踏まえ、設備や機能、耐用年数などの現状を把握し、整理するとともに、スポーツ施設の再編や維持管理の効率化を図るなどのスポーツ施設の適正配置(スリム化)などを検討する必要がある。栃木市民スポーツフェスティバルや栃木市ウォーキング大会などの既存のイベント・大会の内容の充実を図るとともに、より参加しやすい事業とする必要がある。	
	取組方針	平成29年度の結果を実績値として、新たに施設の充実やスポーツイベント参加者の増加、内容の充実を図るために調査設問などの検討も行っていき、満足度が高まっていくための施策を行っていきたい。	